

台風・豪雨時等の防災計画

1. 鈴鹿市に暴風警報または特別警報が発令された時：

- ①暴風警報または特別警報が発令中・・・・・・・・・・登校を見合わせて自宅で待機する
- ②午前 10 時までに暴風警報および特別警報が解除された場合・・・以下のように対応する

警報解除時刻	始業時刻<授業> [スクールバスの運行]
◆午前6時までに解除 ……………	8：25<平常授業> [定時運行]
◆午前7時までに解除 ……………	9：25<2限目より開始> [1 時間遅れで運行]
◆午前8時までに解除 ……………	10：25<3限目より開始> [2 時間遅れで運行]
◆午前8時～10 時までに解除…解除 2 時間後より開始<メール・HP で連絡>	[運行なし]

四日市バスは、6：32(始発)の時点で暴風警報または特別警報が発令されている場合は運行せず待機します。その後 10 時までに解除された時は、解除から 30 分後に運行を開始します。

※3限授業・4限授業の日は、午前7時の時点で暴風警報または特別警報が発令されている場合は臨時休校(家庭学習日)とする。

※定期考査期間中は、午前6時の時点で暴風警報または特別警報が発令されている場合は臨時休校(家庭学習日)とし、その日の考査を考査最終日の翌日(翌日が休日の場合は次の登校日)に実施する。

※鈴鹿市に暴風警報または特別警報が発令されていない場合でも、自宅を含む地域や通学路に暴風警報または特別警報が発令されている場合も同様に対応する。

※上記の対応に関する問い合わせは学校へしないこと(メール配信・ホームページ[HP]で確認)。

- ③午前 10 時を過ぎても暴風警報または特別警報が発令されている場合・・・臨時休校(家庭学習日)とする。
- ④始業後に暴風警報または特別警報が発令された場合・・・・・・・・生徒の安全を最優先に考えて対応する。

2. 鈴鹿市および自宅を含む地域に大雨洪水警報が発令されている時：

- ①交通機関に支障がある場合など登校が困難な時には自宅待機し、学校へ連絡を入れる。
- ②始業後に大雨洪水警報が発令され交通機関への影響等が心配される時は、生徒の安全を最優先に考えて対応する。

3. 緊急対応

- ①登校途中で臨時休校が決定されたとき
 - (ア)各自でできる限り速やかに下校。
 - (イ)登校した生徒については、安全を確認して下校させる。
- ②下校時および授業時間中に臨時休校が決定されたとき
 - (ア)生徒は教室待機。生徒各人の下校方法を確認し、安全が確認された生徒から下校させる。
なお、下校については家庭との連絡を必ずとること。
 - (イ)交通機関等の運航中止等によって下校ができない場合は、そのまま教室で運行開始が確認されるまで待機。
 - (ウ)下校途中で交通機関が運行中止になったときは、速やかに学校へ連絡させてできる限り学校へ戻るように指示する。学校へ戻るができない場合は、安全な場所へ避難することを指示し、学校へ避難できるよう対応をとる。
 - (エ)交通機関運行中止により長時間の待機を強いられる場合は、スクールバスにて保護者との連携のとれる生徒について搬送する。また、待機が夜間に及ぶ場合は、生徒が宿泊できるような対応をとる。

③緊急時の対応

(ア)担任および学年が必ず一人ひとりの帰宅方法および帰宅の確認をとる。

(イ)帰宅経路(交通機関含む)の安全が確認できるまでは生徒を下校させない。

④連絡方法

- メール配信により連絡内容を流す(教職員・生徒・保護者)。
- HPに連絡内容を掲載する。
- メール配信システムに登録していない家庭には、担任より連絡を行う。

4. 生徒に対する事前指導

豪雨による災害時にどのように対応していくかについては、事前にHRなどで指導ができるように防災計画を立てる。

5. 役割分担

- ①本部……………運営委員会
- ②交通機関の運行状況等の確認……………総務部
- ③スクールバスの運行……………事務局, 総務部
- ④下校指導およびスクールバス添乗指導……………生活指導部
- ⑤保護者連絡(メール配信等)……………教頭, 総務部
- ⑥待機生徒の対応……………各担任
- ⑦県への連絡……………教頭
- ⑧宿泊等の対応……………教務部
- ⑨その他……………運営委員会

☆地震発生にかかわる緊急放送：

非常用放送を使用

• 緊急地震速報発令時

『緊急地震速報が発令されました。ただちに机の下に隠れて身の安全を確保してください。』

• 地震発生直後(一次避難)

『地震が発生しました。窓際から離れ、机の下に隠れて頭部を保護し、机の脚をしっかりとつかんでください。次の放送があるまでしばらく動かないように。』

• 地震がおさまってから(二次避難)

『頭部を覆いながら、慌てずに避難場所に避難してください。』